



KUBOTA



本社外観

- 本社所在地：岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪521番地の1
- 事業概要：土木建築工事請負業
- 常時使用する従業員：58名
(2025年12月時点)
- 現在の売上高：24億円
(2025年6月期)
- 法人番号：8200001015969
- Web：https://www.kubokou.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
久保田 智也

地域社会の発展に挑戦する

久保田工務店は揖斐川町に根差す建設業として、地域とともに成長し、地域の未来を支える企業であり続けるため売上高100億円規模への成長を目指す「100億宣言」を行います。

本宣言は、事業拡大のみならず地域課題の解決、雇用の創出、次世代につながる持続可能な地域発展を目的とした挑戦です。

私たちは建設業を軸に公共事業、インフラ整備を通じて安全で安心なまちづくりに貢献するとともに人、企業、行政をつなぐ地域発展のためのプラットフォームを構築します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2050年の売上高100億達成に向け、次に掲げる事業を実施いたします。

- 事業領域拡大による工事受注拡大
- 公共工事以外の民間領域への積極的な参入
- 建設、不動産、運営を一本化した空き家ストック型ビジネスの実現
- 建設、農業、地域資源を組み合わせた新たな産業モデルの構築

課題

- 地域人口減少による若年労働者の確保と育成、定着
- 現場管理のDX化、積算、設計プロセスのIT化ならびにデータ分析による生産性向上
- 同業、異業種とのM&A（合併・買収）や業務提携による売上拡大の加速化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 人材数と人材の質を同時に高め、対応可能事業領域の拡張
- 空き家対策事業による継続収益の積上げ、安定的な売上拡大
- 農業分野参入による建設主要の創出と地域産業の付加価値向上
- 他業種参入による売上構造の多角化
- DX化による生産性向上
- M&A、業務提携により人材・事業・顧客のスピード感ある獲得

実施体制

- 推進体制の構築
代表取締役を責任者とする「100億成長プロジェクト」を設置
建設・DX責任者、空き家対策・不動産事業責任者、農業・地域産業連携責任者を配置し、迅速な意思決定体制の構築
- 社内横断型プロジェクト体制
若手社員を積極的に登用し、次世代リーダー育成を実施
- 外部連携・支援体制行
行政・金融機関・商工団体等連携を強化し、専門家との顧問契約

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円目指す成長手段と実施体制

1. 目指す成長の考え方（全体）

久保田工務店は、建設業を基盤としながら「フロー型」から「ストック型」への転換を成長の軸とする。空き家対策事業・農業参入を通じて建設を地域産業と価値を生み続ける仕組みへ進化させ、持続的に売上と雇用を積み上げる成長モデルを構築する。

2. 空き家対策

揖斐川町をはじめとする地域では、空き家の増加が深刻な課題である。一方で「改修・管理・活用」により継続的な価値創出が可能な資産であることから「問題」から「事業資産」へ転換するビジネスモデルを構築する。空き家調査・診断・解体・改修・用途転換から利活用後の維持管理・受託・再投資など空き家対策・ストック事業推進チームを編成する。

3. 農業参入

農業分野の担い手不足・高齢化は地域全体の構造課題である。農業法人との連携・出資・M & Aや農業施設の保管理により、建設×農業の融合による新産業モデルの創出。

売上高

